

平成30年（2018）4月 入域観光客数概況

4月の観光客数は、83万3,200人
対前年（H29）同月比 +7万4,000人、+9.7%
～4月の過去最高更新、各月の過去最高を54ヶ月連続更新～

入域状況

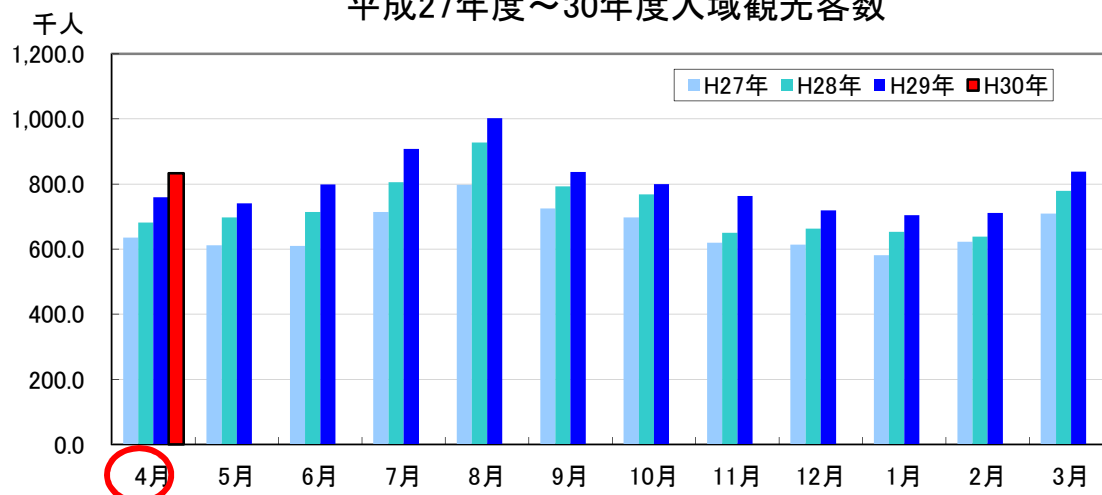
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	556,400 人	541,600 人	+ 14,800人	+ 2.7%	66.8%
外国客	276,800 人	217,600 人	+ 59,200人	+ 27.2%	33.2%
合計	833,200 人	759,200 人	+ 74,000人	+ 9.7%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	556,400 人	541,600 人	+ 14,800人	+ 2.7%	70.2%
外国客	236,400 人	190,800 人	+ 45,600人	+ 23.9%	29.8%
合計	792,800 人	732,400 人	+ 60,400人	+ 8.2%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

4月は、春休みやゴールデンウィークの旅行需要があり、県内での大型イベントの複数開催等から前年を上回った。

5月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、各航空会社の予約状況が安定していることや夏季運航期間において航空路線の拡充による提供座席数の増加が見込まれることから、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

4月は、航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で増加したこと等から前年を上回った。

5月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であることや、夏季運行期間において航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	259,500 人	251,300 人	+ 8,200人	+ 3.3%	46.6%
関西方面	116,700 人	115,200 人	+ 1,500人	+ 1.3%	21.0%
福岡方面	71,000 人	68,000 人	+ 3,000人	+ 4.4%	12.8%
名古屋	49,400 人	46,700 人	+ 2,700人	+ 5.8%	8.9%
その他	59,800 人	60,400 人	△ 600人	△ 1.0%	10.7%
合計	556,400 人	541,600 人	+ 14,800人	+ 2.7%	100.0%

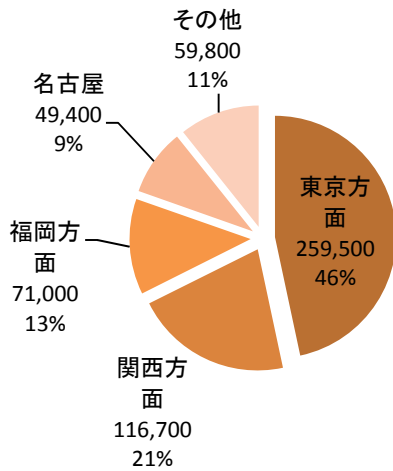
※国内海路客2,100人を含む(鹿児島1,700人、横浜300人、その他100人)

外国客 国籍別入域状況

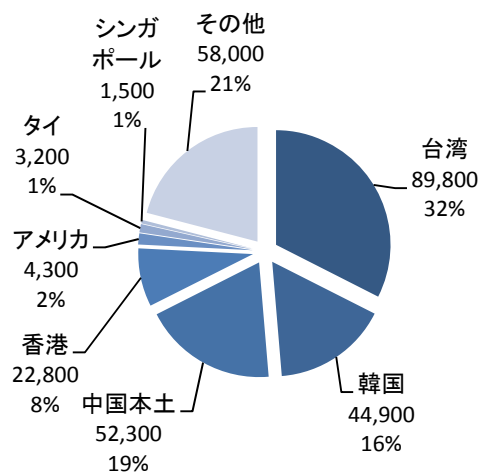
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	89,800 人	89,800 人	64,200 人	+ 25,600人	+39.9%	32.4%
韓国	44,900 人	44,900 人	42,100 人	+ 2,800人	+6.7%	16.2%
中国本土	52,300 人	52,300 人	37,600 人	+ 14,700人	+39.1%	18.9%
香港	22,800 人	22,800 人	25,500 人	△ 2,700人	△10.6%	8.2%
アメリカ	4,300 人	4,300 人	3,400 人	+ 900人	+26.5%	1.6%
タイ	3,200 人	3,200 人	3,300 人	△ 100人	△3.0%	1.2%
シンガポール	1,500 人	1,500 人	800 人	+ 700人	+87.5%	0.5%
その他	58,000 人	17,600 人	40,700 人	+ 17,300人	+42.5%	21.0%
合計	276,800 人	236,400 人	217,600 人	+ 59,200人	+27.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	56,500 人	56,500 人	+18.7%	37.2%	33,300 人	33,300 人	+100.6%	26.7%
韓国	44,800 人	44,800 人	+6.4%	29.5%	100 人	100 人	皆増	0.1%
中国本土	20,400 人	20,400 人	+3.0%	13.4%	31,900 人	31,900 人	+79.2%	25.6%
香港	18,800 人	18,800 人	△14.2%	12.4%	4,000 人	4,000 人	+11.1%	3.2%
アメリカ	1,900 人	1,900 人	△13.6%	1.3%	2,400 人	2,400 人	+100.0%	1.9%
タイ	3,100 人	3,100 人	△3.1%	2.0%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	+250.0%	0.9%	100 人	100 人	△75.0%	0.1%
その他	5,100 人	5,100 人	△3.8%	3.4%	52,900 人	12,500 人	+49.4%	42.4%
合計	152,000 人	152,000 人	+6.7%	100.0%	124,800 人	84,400 人	+66.2%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

4月は、春休みや、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の先行割引航空券が良好なこと等から、前年を上回った。

5月は、一部旅行会社ではゴールデンウィーク明けから6月にかけて追加の対策商品（WEB等）の造成による旅行需要の喚起が期待されることや、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることもあり、堅調に推移する見込み。

大阪

4月は、航空会社の先行割引航空券などの販売実績や一般団体旅行の受注が良好であったこと等から、前年を上回った。

5月は、一般団体旅行や教育旅行の先行受注が安定していることや航空会社の先行割引航空券の販売が安定していることもあり、好調に推移する見込み。

福岡

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の先行割引航空券が良好なこと等から、前年を上回った。

5月は、離島直行便プロモーションによる需要喚起が期待されることや、航空会社の先行割引航空券の販売が安定していることもあり、堅調に推移する見込み。

名古屋

4月は、旅行会社の宮古島商品の販売実績が良好であったことや、離島直行便を利用した団体旅行が増加したこと等から前年を上回った。

5月は、ジェットスターがゴールデンウィーク及び5月週末に増便することや、旅行会社の宮古島商品の販売が引き続き良好なこと等もあり、堅調に推移する見込み。

台湾

4月は、航空会社による増便や、高雄－那覇路線の初就航や琉球海炎祭による旅行需要の高まり等から前年を上回った。

5月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港予定回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

4月は、お花見の旅行商品等、多方面との競合が懸念されたものの、航空路線の拡充等により、前年を上回った。

5月は、近距離旅行の需要の高まりに加え、チャーター便の運航が予定されていること等から、空路を中心に好調に推移する見込み。

中国本土

4月は、お花見の旅行商品等、多方面との競合が懸念されたものの、大型クルーズ船の寄港があったこと等から、前年を上回った。

5月は、労働節連休による旅行需要の高まりや、クルーズ船の本格的なシーズンになること等から、好調に推移する見込み。

香港

4月は、個人手配旅行が良好であったものの、お花見旅行商品等の多方面との競合や麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響により一部キャンセルが発生したこと等から前年を下回った。

5月は、前年同月に比べて夏季スケジュールの航空路線の拡充が予定されているほか、大型クルーズ船の寄港が予定されていること等から、好調に推移する見込み。